



# 「グリーンウェイブ 2011 ～みどりのカ～」開催

国際森林年記念

主催：社団法人国土緑化推進機構、公益財団法人森林文化協会、朝日新聞社 後援：環境省、国土交通省、林野庁 特別協賛：財団法人地球産業文化研究所 協力：社会福祉法人こどもの国協会、テレビ朝日



2011・国際森林年

今年、国連が定める「国際森林年」。そこで5月29日、こどもの国（横浜市青葉区）で、防災や国土の復興も含めた森林が果たす役割について考えるイベント「グリーンウェイブ2011」が開催されました。



司会・本間智恵アナウンサー（テレビ朝日）

講演「借りてる地球の使い方」



## さまざまな恩恵をもたらす 森に来ればみんな元気になる

タレント・NPO法人河口湖自然楽校代表理事  
清水国明さん



私は河口湖の森のなかで子どもたちを元気にする活動をしています。自然から離れた都会の暮らしは“不自然”な暮らしです。便利すぎるため、都会の人は危険を察知する本能や五感をフルに使っていません。それが現代人のストレスや弱さになっているのではないかと。私たちの活動では、自然のなかの暑さ、寒さ、不快さに耐えて「なにくそ」と生きる力を育てるための環境を森につくっています。ここに来ると、体のスイッチが入って、子ども

も大人もむちゃくちゃ元気になるんです。

今回の震災で私も何か行動をしなくてはならないと、被災地の子どもたちを受け入れることにしました。それまで避難所生活で存分に遊べなかった子どもたちは、ここに来た瞬間、水を得た魚のように遊びだしました。親御さんからは、子どものこんな笑顔をはじめて見たといわれました。森はこのような大変な時でもすごい力を発揮して、人間を元気にしてくれるんだと痛感しました。

森のフィトンチッドは、木が害虫や病原菌から自分を守るために放出する物質だそうです。人は森のなかに入るとフィトンチッドによって余計なものを洗い流してもらえるのかもしれない。文明の大転換期にいる人類は、今、あらためて原点に戻って森のなかに帰り、緑に心と体をいやしてもらう必要があるのではないかと思います。

よく森が疲弊すると海草や魚介類がとれなくなるといわれます。自然はすべてつながっています。“生物多様性”とは生命のにぎわいのこと。この世に不必要な命はありません。そんな多様な生き物が暮らし、さまざまな恩恵を私たちにもたらしてくれる森を、大震災をきっかけに、もう一度見直す必要があると思います。

「地球は未来の子どもからお借りしているもの」と、アメリカ先住民族の女性から聞いたことがあります。大切な借り物を自分たちの都合、利益、便利さのためにいじりまわし、そのまま次世代に渡すなんてもってのほかです。

### 進和学園「いのちの森づくり」プロジェクト

神奈川県平塚市にある社会福祉法人進和学園では、知的障害のある人々を中心となりドングリや木の実を集め苗木を栽培しています。「グリーンウェイブ2011～みどりのカ～」では、進和学園の「どんぐりグループ」が育てたスタジイ（シイの木）の幼苗が、参加者にプレゼントされました。進和学園では、横浜国立大学名誉教授・宮脇昭先生の指導のもと「土地本来の木による森づくり」を実施。環境に貢献しながら豊かな心を育み、各人の成長につなげるとともに、メンバーの工賃に還元して就労・自立支援に役立てることを目指しています。



自然から奪ってばかりの現代人が、地球のためにできることが木を植えることです。3本植えれば、一生のうちに使う酸素を木が出してくれるといいます。みなさんぜひ、うちの森に遊びにきてください。一緒に木を植えましょう。



イベント終了後、参加者に苗木がプレゼントされました

### ケロボンズショー 「緑にふれよう! ケロボンズ親子コンサート」

## 歌あり笑いあり遊びあり 参加者親子が爆笑の渦に

講演の後は歌と演奏、体操などで全国に笑い感動を届けているスーパーデュオ「ケロボンズ」のアトラクション。この日も2人のコミカルなパフォーマンスで会場は爆笑の渦に包まれました。



当日の様子はダイジェストにしてインターネットで配信されています。  
<http://gw2011.jp/> をご覧ください。

### グリーンウェイブとは

生物多様性条約事務局では、国際生物多様性の日（5月22日）、世界各地で現地時間午前10時に植樹することを呼びかけています。そして植樹によって地球の東から西へ緑の波が広がっていく様子を「グリーンウェイブ」と呼んでいます。日本でも環境省、農林水産省、国土交通省が3月1日から6月15日の期間、「グリーンウェイブ2011」として広く植樹への参加をよびかけました。

来賓あいさつ



## 森を次世代に引き継ぐには 木を適切に使うことも大事

林野庁長官  
皆川芳嗣さん



日本は世界でも緑豊かな国で、面積の3分の2が森林です。今、世界の森が減少し、砂漠化が進んでいますが、日本で

は先祖が今日まで森を守ってくれたからこそ、今も緑豊かな森が残っているのです。

森は地球温暖化防止のうえで大事ですし、土砂崩れを防いでくれるなどさまざまな役割があります。そんな森は、人間の力なしでは、いい形のまま次世代に引き継ぐことはできません。時には木を切り、木の間を間引く（間伐）必要があります。間伐材でできた割り箸を使ったり、木造の家を建てるなど、木を適切に使うことも森を守るうえでは大事なことです。木材の提供、木質バイオマスエネルギーの活用など、東日本大震災の復興においても森は大きな役割を果たします。みなさんにはぜひ、日本各地の森を親子で歩き、そのすばらしさ、森を守るための人々の努力を感じていただきたいと思っています。